

はまごう小だより

自分が大好き！あなたが大好き！！

伊勢市立浜郷小学校
令和2年6月29日
発行者 平生 理恵

第7号

5年生が米作りを学習しています。

5年生は社会科で米作りの学習をします。浜郷小学校では、毎年地域の通町の田をお借りし、実際に田植えから稲刈りまでの米作り体験をしています。しかし、今年は新型コロナウイルス感染症の予防のため、米作りの全工程のうち、状況を見ながらできるところだけ体験させていただくことになりました。

今年お世話になるのは、毎年お世話になっている通町自治会長の酌井さんと森さんです。例年であれば田植えから体験させていただいているのですが、今年はその時期は学校が休業中であったためその工程については酌井さんがしてくださったのです。学校が通常再開してから現地にお邪魔をして、そこまでの工程をお話いただきました。米作りについては、苗を植えてからもたくさんの

お世話が必要で、苗がしっかりと根を張ることができるように水の調整もしなければなりません。今後、稲刈りの時期まで、時々田の観察を行い、可能な限り体験をさせていただく予定です。教育集会所での地域学習を行い、最終には刈り取った稲わらでわら草履を作る計画が立てられています。

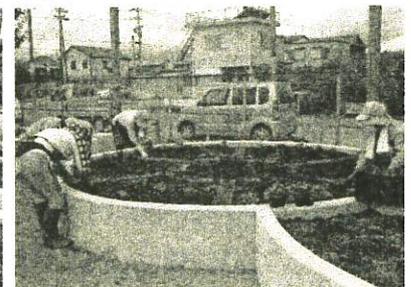
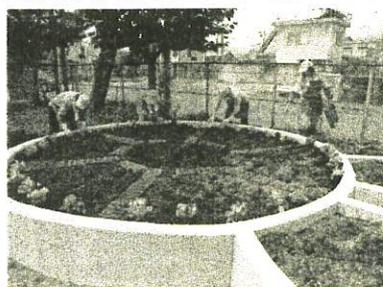
子ども達はまさに地域によって育てていただいています。お世話をおかけしますが、よろしくお願い致します。



花の苗を寄贈していただきました！

平成21年、全国花いっぱい大会が開催されたのを機に、伊勢市では平成22年11月より市内の8小学校に花苗を寄贈することになりました。浜郷小学校もその8校のうちの1校で、毎年、伊勢市女性団体協議会の方に来ていただいて、子ども達とともに花壇への花植えをしていただけてきました。本来であれば、子ども達と協働でということなのですが、今年新型コロナウイルス感染症予防のため、花植えについては女性団体さんをお願いして、その後のお世話を子ども達がしていくこととなりました。

6月12日に来ていただき、2時間ほどかけて、運動場の西側にある花壇に色とりどりのペゴニアの苗を植えてくださいました。大変暑い中での作業本当に有り難うございました。その後は園芸委員会の子ども達が水やりを続けています。



避難訓練を行いました！

学校では、「防災ノート」を活用して、子ども達が地震や台風・集中豪雨等の自然災害から命を守るために、子ども達の防災意識と知識・能力を高め、災害から身を守る力を育てています。

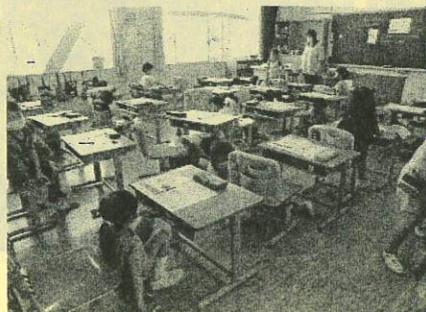
6月15日(月)、3密を避けなければならない中で避難訓練を行いました。例年の避難訓練とは違い、今回は「シェイクアウト避難訓練」というものを行いました。

シェイクアウト訓練とは、2008年にアメリカ合衆国の南カリフォルニア州で生まれた、地震の一斉防災訓練です。「そのときにいる場所」で地震が発生したと想定してとっさに身を守るという、従来の防災訓練とは異なる訓練です。シェイクアウト訓練と通常の防災訓練の違いは、「自発性」と「訓練する場所」です。シェイクアウト訓練は、参加者が自らの意思で参加するので訓練へのモチベーションが高くなります。また、合図が届いたときにいる場所で地震が発生した想定で訓練を行うので、自分の頭で考えて臨機応変に対応することになります。

シェイクアウト訓練は、「Drop(まず低く)、Cover(頭を守り)、Hold on(動かない)」という合言葉どおりの動作をするだけです。シェイクアウト訓練で「Drop」、「Cover」、「Hold on」が重視されているのは、地震被害を最小限に抑えるために、地震発生直後は「姿勢を低くして、頭を守り、動かない」ことが大切だからです。

職員室から緊急地震速報の警報音を流すと、子ども達はすばやく机の下に潜りました。その後、静かに口を閉じたままで次の指示を待っていました。その訓練自体は1分ほどで終わりました。

訓練のあと振り返りを行いました。地震が起こったときは、まずはあたまを守ることが大切です。そのときのポーズは「ダンゴムシのポーズ」です。1年生の教室では、分かりやすいように先生がお手本のポーズを示していました。そして、「実際に地震が起こると机も揺れてしまいますから、潜った机の脚をしっかりとつかむことも忘れないように！」と指導していました。



警報音が鳴りました。あっという間に机の下に潜りました。

ダンゴムシのポーズのお手本！

日をあらためて、屋上避難も行いました。例年は屋上避難をするときには、高学年は低学年の子と手をつないで行っていますが、今はそれもできません。それでも、高学年の子ども達は、避難するときにはいつでも手助けができるようにと意識しながら避難をしていました。

今年は例年行われているような行事や児童会活動がなかなか実施できず、6年生の活躍の場が少ないのが現状ですが、最高学年としての自覚はしっかりと育っています。

